

新着図書のご案内

国見図書館

『ものごとの「格付け」事典』

安部 直文(著)

最高裁判所と高等裁判所、柔道の黒帯と白帯、どちらが格上か分かりますか。このあたりは分かりそうですが、それでは、軍隊の少尉と少佐、ブランドのVSOPとXOは？

世の中には実にいろいろな格付けが存在します。一体だれが偉くて、どれがすごいのでしょうか。そんな疑問を解決してくれるのがこの本です。

政治、経済、教育から日本の伝統技芸、衣・食まで様々な分野の格付け、階級、序列を分かりやすく図解してくれています。聞いたことはあるけれど、位置づけが分からなかったものたちの全てが分かります。これを読めばあなたも“うちく王”間違いなしです。

くにさき図書館

『佐伯藩』

宮明 邦夫(著)

著者の宮明邦夫さんは、佐伯市の薬局の社長さんであり、大分合同新聞の『灯』欄を執筆している方です。佐伯藩についての興味深い話題が満載のこの本ですが、印象的なのは、「佐伯文庫」の話です。8代目当主高標は、8万冊もの蔵書を集めた文庫を開設。長崎に外国船が入るたびに優れた本を選びぬいて購入し、藩主自らすべての本に目を通し、藩士にも公開したそうです。しかし、一方で、同じ時代に飢饉による餓死者が多く出ており、優れた事業の陰にはきびしい現実もあったようです。「佐伯藩の物語は今の私たちに生きる知恵を与え、進むべき方向を示してくれる」と著者があとがきに書いていますが、考えさせられることの多い歴史書だと思います。

武蔵図書館

『浅田真央物語』

青嶋 ひろの(著)

2010年2月、バンクーバー冬季オリンピック。みなさんの記憶には、まだ残っているでしょうか？ この大きな舞台上、日本中の期待を背負って数分という短時間で演技をし結果を残した瞬間を。演技終了後、ミスの残る演技から「悔しい。納得していません。」と涙した瞬間。その後のインタビューで「やっぱり嬉しい」といつもの笑顔に戻った瞬間。

この物語は、一人の女の子がフィギュアスケートと出会い、オリンピックの銀メダリストになるまでの物語。少しだけ特別だった女の子が、「オリンピックで金メダルをとりたい！」と夢見てから、家族やスタッフに支えられながら練習を積み重ねて、「世界のMAO」になるまでの物語です。

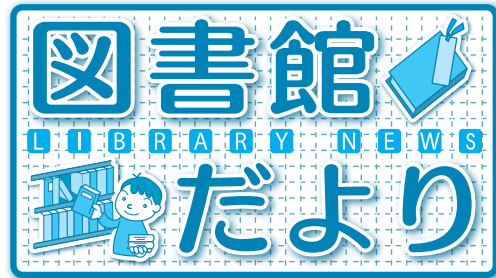
安岐図書館

『奇跡のプレイボール』

大社 充(著)

2007年12月ハワイにて、「日米スーパーシニア親善野球試合」が行われました。選手はかつて太平洋戦争を敵として戦った、日本とアメリカのおじいさん達です。彼らは辛い体験から、戦後60年以上経った今も「あの戦争は何だったのか」と感じていました。

本書は、そんなおじいさんの一言から始まったプロジェクトの全容と、選手それぞれの戦争体験が書かれています。ハワイで両国の選手が、当時を語り合う場面はとても印象的です。



開館時間 午前10時～午後6時

図書館カレンダー 6月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

■は休館日。30日(水)は資料整理のため休館です。

問い合わせ	国見図書館	☎0978(82)1585
	くにさき図書館	☎0978(72)3500
	武蔵図書館	☎0978(69)0946
	安岐図書館	☎0978(67)3551

図書館行事のご案内

◇国見図書館

おはなしひろば

- 11日(金)午前9時30分～ 熊毛幼稚園・保育所
- 12日(土)午前9時30分～ 国見図書館
- 25日(金)午前9時30分～ 竹田津幼稚園・保育所

◇くにさき図書館

おはなし会

- 13日(日)午前10時30分～
- 26日(土)午後2時～

◇武蔵図書館

おはなしのへや

- 9・16・23日(水) 午後3時30分～
- 7月7日(水) 午後3時30分～

移動図書館

- 17日(木)午後1時30分～2時 吉広地区

◇安岐図書館

ひまわりのへや(おはなしと工作)

- 12日(土) 午前10時30分～